

平成26年度科学技術関係経費

H26年度概算要求: 1,636億円【歳出ベース】*

1,519億円【契約ベース(物件費)】*

* 技術研究本部経費の他、防大及び防衛医大の教官研究経費を含む額

主要事項

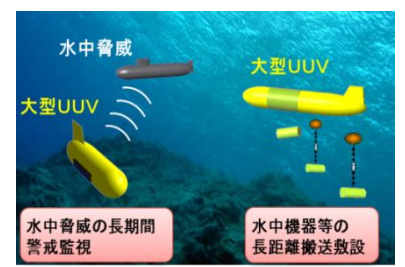
ロボット等の無人装備・サイバー・宇宙等を含め将来を見据えた研究開発を実施。

○無人潜水ロボット(UUV)の長期間運用を可能とする燃料電池等の研究

H26年度概算要求: 約12億円

【概要】 水中における長期間かつ広範囲での警戒監視・情報収集や、水中機器等の搬送・敷設といった機能を有し、潜水艦の機能を補完できるUUVを可能とするため、燃料電池等に関する研究を実施。

※ UUV(Unmanned Underwater Vehicle)



○原子力災害等の脅威下において活用可能なロボットの研究

H26年度概算要求: 約9億円

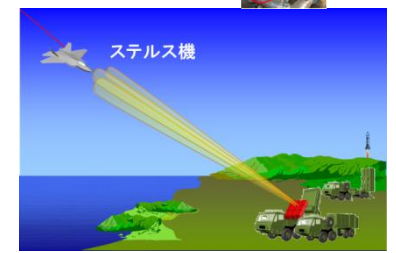
【概要】 原子力災害等の放射線・生物剤・化学剤の脅威下で、悪天候でも自律的に偵察、物資輸送を行うとともに、各種作業等を実施するロボットを実現するための研究を実施。



○ステルス機等を探知するためのレーダー及び射撃管制システムの研究

H26年度概算要求: 約37億円

【概要】 従来のレーダーでは困難なステルス機等の探知・追尾を行い、対処するためのレーダー及び射撃管制システムに関する研究を実施。



○ネットワークサイバー攻撃対処技術の研究

H26年度概算要求: 約8億円

【概要】 サイバー攻撃の生起時に、ネットワーク内において迅速に経路変更等を行うことにより、重要通信の経路を確保し、被害拡大を防止するための研究を実施。

(※ 金額は契約ベース)

国民の安全・安心に資する技術と産業技術の相互に転用が可能なデュアルユース技術も注視

民生技術と防衛装備技術

